



あなたの心分けてくださいここに

編集発行：ココナッツ・チャイルド後援会

編集発行責任者：藤 正信

栃木県栃木市倭町11-16 〒328-0037

ココナッツ・チャイルド NEWS VOL:0908

今年ACTSでは6名が小学校を卒業しました



貧しさ故小学校に行かせられない家庭と子供を支援し、学校に送るあしながおじさんプログラムによって、今年も九名が無事所定の勉学を修了し小学校を卒業しました。

内訳はカリナン地区のカリナン小学校の Japhet Celeregia と Mark Frederiksen と Paul Frederiksen と Allen James Celeregia の 4名、ピラフェルテ小学校では Kira Manojó と Shamaine Aldueso の二名です。タムガン地区のタムガン小学校で Jeany Ubatay です。タロモ地区のアンドレスボンファッション小学校では Lewelyn Joy Madjadas と Hazelyn Gadayan の二名です。

日本とは違い小学校でも落第があるので卒業は喜びもひとしおです。まるで大学でも卒業するかのようにひし形の帽子をかぶりお手製のガウンを着ます。手作りのレイのような飾りを付けてもらい、親も鼻高々です。

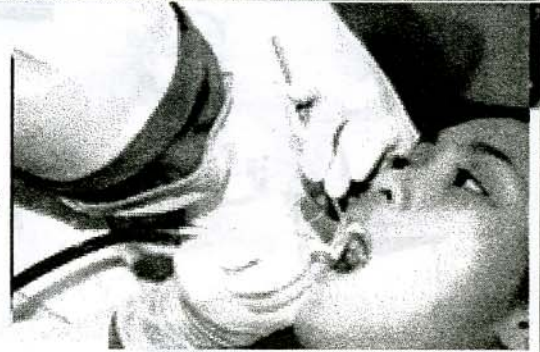
この子らは中学(フィリピンの高校)には行けず社会に出て働く事になります。それでもミンダナオの希望の星です。健康でいつも輝いて生きていつてもらいたいですね。

医学生チェリーが編入学します

医学生チェリーは今までダバオ市の医科大学で学んできましたが、結婚し子供が2人できたことにより子育てと学業を何とかこなしてきましたがやはり難しく、思うように勉学時間を十分にとれなくなり単位を落とし落第してしまいました。そこで、両親に子育てを託し、環境を整え再度勉学に専念すべくセブ島セブ市のキリスト教系総合大学南西大学(右写真はその大学のマーク)の薬学部へ転学いたします。



上や右の写真は南西大学のホームページからコピーしたものです。ホームページは <http://www.swu.edu.ph/> です。年間授業料は97,000ペソで現在のレートでは約193,000円です。このほか今年度は七課目の教科書代28,826ペソ(約57,000円)加えて初回のセブまでの飛行機代の併せて256,000円を支援しました。ダバオではチェリーの夫と父親がビジネスを営んでいるので今後、チェリーの生活費、アパート代を支援する場合は貸し付けになります。



皆様方からの篤い御支援を途中で無駄にするような事には絶対なってもらいたくなかったので、チェリー本人からの申し出や両親、大阪支部の中村牧師や愛さんそして私藤との話し合いにより今回の決定がなされました。



本人チェリーは今月からセブに行き、大学に歩いて通えるところに安いアパートを借り自炊しながら勉学を続けていきます。私共ココナッツチャイルド後援会は責任を持って必ず開業医となる目標貫徹を果たしてもらいたく、できるだけの支援を続けて参ります。皆様方におかれましては何とぞチェリーの諸事情を勘案し、御理解を賜ります様よろしくお願いいたします。

愛さんのレポート

2009/6からの新年度は新入生が多くクラスを1組増やしています。
クミハラ・ラーニングセンター(愛さんが責任を持つてる貧民街の幼稚園)の授業内様は
年中組、年長組共：国歌斉唱と挨拶、歌や詩の朗読、英語、算数です。
園児たちが住んでいる家庭環境をアンケートへの解答でご紹介します。

<幼稚園周辺のアグダオ地区の住民131名に対するアンケート結果>

- 1 家族構成 1人家族-1 (1名で住んでいる人が一人、以下同様)
2人家族-8 3人家族-12 4人家族-23 5人家族-22
6人家族-16 7人家族-12 8人家族-12 9人家族-7
10人家族-8 11人家族-3 12人家族-0 13人家族-4
14人家族-2 15人家族-1
- 2 1家族当たりの子共の数
0人-4 1人-16 2人-23 3人-28 4人-15 5人-16
6人-11 7人-4 8人-6 9人-3 10人-3 11人-2
- 3 住居の状況
持ち家に住んでいる人-55人 借りた住居に住んでいる人-75人
- 4 家賃の金額 (8月8日現在で1ペソは2円です)
400ペソ -1人 500ペソ -5人 600ペソ -4人
700ペソ -5人 800ペソ -4人 900ペソ -2人
1000ペソ-1人 1200ペソ -3人 1500ペソ -1人
その他は身内と同居
- 5 家族構成員の海外への出稼ぎ状況
日本-8人 クェート-2人 アメリカ-3人 ノルウェー-1人
- 6 家族の職業
運転手-20人 大工-10人 駄菓子等の販売-6人 洗濯-6人
空瓶等の回収-2人 写真家-2人 ペンキ塗り-5人 自営業-2人
美容師-2人 餅菓子作り-3人 焼き魚売り-1人 機械技師-1人
にんにくの皮剥き-1人 レジー-1人 ベビーシッター-1人
ウェイター-1人 掃除-1人 パン屋店員-1人 ピーナッツ売り-1人
賭博師-1人 その他-16人 仕事無し-47人
- 7 平均月収 (8月8日現在で1ペソは2円です)
500ペソ未満で安定していない-32人
500ペソ以上1000ペソ未満-30人
1000ペソ以上2000ペソ未満-42人
2000ペソ以上4000ペソ未満-25人
4000ペソ以上6000ペソ未満-1人
6000ペソ以上10000ペソ未満-1人

あどない・いるえチルドレンホームのレポート

あどないいるえ・チルドレンホームでは様々な困難の中にあつた子供達を受け入れています。右の写真は最近の様子を撮ったものです。

今いる子供達のうちの一人をご紹介します。ロナルド・ナヴァロ(下の写真)です。2001年5月15日生まれでニックネームはナナです。

2003年1月31日に入所しました。その時彼は栄養失調でした。左の写真のように弱々しく、青白く、皮膚は老人のようで、骨が目立つ状態でした。両親は離婚しました。彼は食べ物を得る事も、遊んでても帰る家もない生活をおくっていました。そう言うわけで姉と一緒に祖父母に引き取られました。しかし親権はあっても十分世話できない祖父母はあどないいるえチルドレンホームにナナを連れてきました。今では人懐っこく、それでいて落ち着いた子供です。彼の二枚の写真の表情を見れば今はどれだけ安堵間をえているか分かります。

